

平成26年度 国東市：大分県学力定着状況調査結果（中学校：国語）

1 結果のポイント

- ・偏差値は2年連続で上昇している。
- ・当該学年が小学校第5学年のときの偏差値50.1よりも0.3ポイント上がっている。
- ・すべての領域で目標値を上回っているが、「読むこと」だけは偏差値50未満である。
- ・「漢字を読む」「漢字を書く」「説明文の内容を読み取る」は、目標値を下回っている。

2 課題が見られた問題と指導の改善事項（領域別）

(1) 読むこと（説明的な文章 4)

①出題のねらい

- ア 説明文の展開に即して内容をとらえることができる。(4) (1))
- イ 説明文の構成や展開を正確にとらえ、それを整理してまとめることができる。(4) (3))
- ウ 説明文の展開に即して要旨をとらえることができる。(4) (4))

②問題内容

- ア 文中にある「この不思議な現象」について、どのような現象かを選択して答える問題である。
【選択・知識】
- イ 文中にある「平行放散進化」について、図式化してまとめる時に空欄に当てはまる言葉を選択して答える問題である。【選択・活用】
- ウ 文章全体を通して述べられている内容として、最も適切なものを選択して答える問題である。
【選択・知識】

③解答状況

ア (4) (1)) については、正答率54.7%であり、目標値55.0%を下回っている。

4 (1) このふしぎな現象とは、どのような現象ですか。最も適切なものを次から選びなさい。

1 (54.7%)
2 (35.5%)

マダラチョウ科に属するチョウは、食べるとまずいといわれています。すると面白いことに、アゲハチョウやタテハチョウなどの中に、それとそっくりの模様をもったものがあるのです。ちやっかり擬態です。このふしぎな現象は、よく、まずいものに…

整理すると

イ (4) (3)) については、正答率69.7%であり、目標値72.2%を下回っている。

4 (3) 「平行放散進化」について、Aさんは次のようにまとめました。(ア)・(イ)に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを、あとから一つ選びなさい。

1	(ア) = マダラチョウ	(イ) = アカスジドクチョウ	…	2. 1%
2	(ア) = アカスジドクチョウ	(イ) = アゲハチョウ	…	3. 8%
3	(ア) = マダラチョウ	(イ) = アゲハチョウ	…	69.7%

4	(ア) = アゲハチョウ	(イ) = マダラチョウ	… 20.5%
5	(ア) = アゲハチョウ	(イ) = アカスジドクチョウ	… 3.8%

イ (4) (4) については、正答率 63.2% であり、目標値 65.0% を下回っている。

4	(4) この文章全体を通して述べられている内容として、最も適切なものを次から一つ選びなさい。						
1	6.8%	2	63.2%	3	16.7%	4	12.4%

④指導の改善事項

文章の中心的な部分と付加的な部分や事実と意見などを読み分けることで内容を的確にとらえらるるを指導する。具体的には、段落ごとに内容をとらえたり、段落相互の関係を正しく押さえたりしながら、さらに大きな意味のまとまりごとに、文章全体における役割をとらえさせることが大切である。

要約したり要旨をとらえたりする活動は、その目的や必要によって内容や方法が異なるので、大切な情報を選択し整理することが必要となる。その際、図表にて文章の中心的な部分、又は付加的な部分のどの部分と関連しているのかつかませる指導が効果的である。

また、指示語の指示している箇所は、多くの場合直前にあるが、そうでない場合もある。指示している語句や内容を挿入して文の意味が通じるか確認することが大切である。さらに、「など」「互いに」等の言葉の意味や働きに注意しながら、選択肢の内容を読み取る学習も必要である。

(2) 読むこと (文学的な文章 5)

①出題のねらい

登場人物の心情をとらえることができる。(5) (3))

②問題内容

文中にある先生の言葉「…先生はこの人は偉い人だと思う…」について、その理由を選択して答える問題である。【選択・知識】

③解答状況

ア (5) (3)) については、正答率 66.2% であり、目標値 70.0% を下回っている。

5	(3) <u>先生はこの人は偉い人だと思う</u> とありますが、それはなぜだと考えられますか。最も適切なものを次から一つ選びなさい。		
1	66.2%	4	15.4%

④指導の改善事項

会話文から、関先生的心情を読むことができる。

恵子の質問前の関先生の会話文、「ほら、中込の村が地図のいちばん、真ん中にあるだろう」「中込という、自分の生まれた土地に立って、長野を見、松本を見ている。それから東京だ。そして外国の都会だ」という部分だけで判断すると「4」のような解釈に陥るおそれがある。

しかし、恵子の質問前の先生の言葉「人間の生命を思うのだ。」を手がかりにして、恵子の質問後の会話文の文脈をたどると、「一人一人の生命は小さなものだ。だが、その小さな生命が、なんと世界をつくっているということだ。そうすると、どんな生命も大きく、大切だと思うのだよ。」とあり、「1」だと判断できる。

文学的な文章について、理解を深め感動が得られるようにするためには、言葉を手がかりにしながらかつながら文脈をたどり、視点を定めて読むことの指導が必要である。

(3) 書くこと

①出題のねらい

自分のとった立場の理由を書くことができる。(7) (3))

②問題内容

相反する2人の友だちの意見を聞き、賛成しない方の意見に対する反論を加えながら賛成する理由を書く問題である。【記述・活用】

③解答状況

7 (3)については、正答率72.4%であり、目標値75.0%を下回っている。

④指導の改善事項

「根拠を明確にして書く」ためには、文章の中の自分の考えや気持ちについての根拠が、明確にかかかれているかどうかを常に吟味することが必要である。自分の思いや考えを繰り返すだけでは相手によく伝わる文章とはならず、複数の事例や立場からの知見を示すことなどが必要となる。

また、双活型で論を進めることが条件になっている場合、第1段落は簡潔に、第2段落は自分の考えを持つにいたった原因・理由を書くという作文表現の型を押さえた上で、条件に合った文章を書く学習が必要である。

(4) 漢字

①出題のねらい

ア 第1学年までに学習した漢字を読むことができる。(2 (1) ②)

イ 小学校で学習した漢字を書くことができる。(2 (2) ①②③)

②問題内容

ア 漢字を読む【短答・知識】

イ 漢字を書く【短答・知識】

③解答状況

ア 正答率が4.3%であり、目標値30.0%をかなり下回っている。

イ ・正答率が52.1%であり、目標値60.0%を下回っている。

・正答率が68.4%であり、目標値70.0%を下回っている。

・正答率が50.4%であり、目標値65.0%を下回っている。

④指導の改善事項

漢字の読みについては、教科書を読むことや読書を通して、漢字の読みの習熟と応用を図ることが大切である。また、字形と音訓、意味と用法、語の成り立ち、熟語の構成などについて必要に応じて指導することが大切である。

漢字の書きについては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を得させ、文脈に即して漢字を書くように常に意識しながら学習させることが必要である。さらに、漢字を書く力を養うためには、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことが大切である。

3 指導の改善のポイント（全体を通して）

○付けたい力を明確にし、その育成に適した「単元を貫く言語活動」を設定した課題解決的な展開の授業づくりを行う。

○説明的な文章では、「問いと答え」「三段構成」「表現技法」「要点」「要旨や意図」などの論理的な読み方の習得や活用を図る。

○文学的な文章では、「作品の設定」「視点」「表現技法」「中心人物の変化」「主題」に着目しながらイメージを深める指導の充実を図る。

○情報を活用し、条件に応じて自分の意見や考えを書く活動の充実を図る。

○定着を図るため繰り返し学習ができる帯時間の学習や家庭学習の充実を図る。